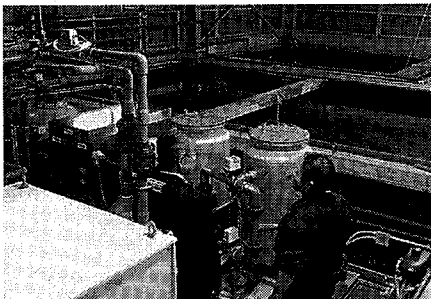
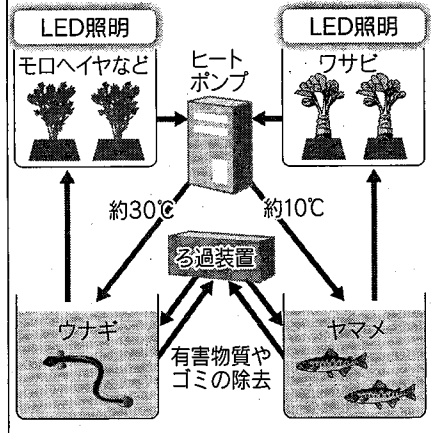


生育環境異なる野菜・魚4種

温水と冷水を同時に発生させ、
魚や植物を効率的に育てる



ヒートポンプを活用し、エネルギーコストが4分の1程度に抑えられる(新潟県十日町市の実験場)

冷温水で同時育成

環境機器製造のサイエンス(さいたま市)は、水中などから取り込んだ熱を空調や給湯に利用するヒートポンプの仕組みを活用し、野菜工場と魚の陸上養殖場の機能を併せ持つシステムを開発した。発生させた温水と冷水を循環させて生育環境が異なる4種類の野菜や魚を同時に育て、エネルギーコストを抑える。先端技術を使った新たな農林水産業の取り組みだ。

サイエンス

ヒートポンプ活用 燃料費を抑制

新潟県十日町市で実験を開始した。井戸水をくみ上げ、ヒートポンプで温水と冷水を同時に発生させる。20〜30度の水でモロヘイヤや空心菜などの野菜とウナギ、10度程度の冷水でワサビとヤマメを育てる。十日町市が

所有する面積約130平方メートル、2階建ての施設内に約2000万円を投じて設備を導入した。温水と冷水はそれぞれ魚の養殖用の水槽に送り込まれた後、発光ダイオード(LED)照明を使って植物を水耕栽培する

▼ヒートポンプ 空気や水の中の熱を集めて冷媒に取り込み圧縮・熱交換して高温にする仕組み。冷媒を膨張させることで圧力を下げ、温度が下がる原理を利用して冷却することもできる。放出された熱エネルギーを活用するため、少ないエネルギー消費量で効率良く熱を発生させたり、冷やしたりすることができる。

ラーやエアコンなどを使う1種類ずつ育てた場合は、燃料代や電気代で10万円程度かかるという。養殖のデータや温度管理のノウハウを蓄積し、来年の実用化を目指す。販売価格は標準的な規模

来的には海外への輸出も視野に入れる。農産物の栽培や魚の養殖が難しい砂漠地や寒冷地などで需要があるためとみている。生育環境を制御した施設内で栽培する植物工場

は、天候に関係なく栽培できるため価格が安定する強みがある。陸上養殖は漁業権の制約がないため漁業者以外も参入しやすい。トレーサビリティ(生産履歴)の信頼性が高いことも利点だ。

鴻巣市のキャラクター

ひなちゃん一緒にPR



知名度アップへ応援組織

知らない(市商工観光課)。市職員だけのPRでは限界があるとして、市民の協力を得るサポーターズくらぶを考案した。サポーターの活動内容は今後検討するが、ひなちゃんの参加イベントに集まってもらったり、着ぐるみに入るボランティアなどを想定する。申込者を対象に説明会を開き、活動方針などを詰め

中小経営支援で組織

財務・経営の専門家連携

埼玉県内の公認会計士・税理士と連携、年間20件程度の取り扱いを目指す。支援内容についてNネット内で評価しながら、1〜3年かけて企業再生などの目的を達成する。

埼玉県内の公認会計士・税理士と連携、年間20件程度の取り扱いを目指す。支援内容についてNネット内で評価しながら、1〜3年かけて企業再生などの目的を達成する。

中古農機具 ネット売買

宮代町、住民の就農後押し

生しないため、一般相場よりも安く手に入れられる可能性がある。新しく農業を始める人は安定した収入がない場合は多く、農機具の購入は経営へのリスクとなる。一方、高齢化や後継者の不在で農業をや

「農機具のやりあいネットワーク」を同町のホームページ内に開設した。価格

利用店の選択可能に

ベルーナが体験型ギフト

カタログ通販大手のベルーナが体験型ギフトで、チケットを受け取